

令和6年度 大阪市立南港南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2-1 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2-2 「大阪市版チャレンジテストplus」の調査の目的

- (1) 生徒及び保護者が、学習理解度及び学習状況等を知り、目標をもって主体的に学習に取り組めるようになる。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。
- (3) 学びの連続性を確立する観点から、客観的・経年的なデータを把握、分析し、効果的な指導方法や課題を「見える化」し、その改善に役立てる。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るために、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

4 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

令和6年度 大阪市立南港南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	34	48	42	4.1	14.7
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3 年	学校	46	57.0	43.9	41.5	51.5	51.4	6.7	5.5	18.0	3.7	8.2
	大阪市	—	65.4	50.2	48.8	52.1	54.0	4.9	4.7	14.3	4.1	6.5
	大阪府	—	65.2	50.4	49.1	52.3	53.6	5.3	5.0	14.8	4.4	6.9
2 年	学校	69	70.8	56.0	58.7	54.2	54.4	6.0	3.1	5.2	3.8	6.3
	大阪市	—	66.1	49.9	51.4	47.0	54.6	8.4	4.6	8.2	5.7	7.0
	大阪府	—	65.5	49.5	50.7	45.9	54.0	9.3	5.2	9.5	6.6	7.9
1 年	学校	62	58.2	59.3	56.7	56.1	57.9	8.4	5.5	6.4	5.3	6.4
	大阪市	—	59.0	53.7	50.5	55.6	62.1	8.3	5.5	7.4	3.8	4.9
	大阪府	—	58.5	—	49.8	—	61.5	9.4	—	8.8	—	5.8

※ 1年生の社会・理科については、「大阪市版チャレンジテストplus」として実施

※ 1年生の理科は化学的領域を選択

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 3年生の理科はC問題を選択

3 大阪市英語力調査 (GTEC)

学年		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】 (スコア)	聞くこと 【リスニング】 (スコア)	書くこと 【ライティング】 (スコア)	話すこと 【スピーキング】 (スコア)
3 年	学校	46	103.0	101.2	136.5	96.0
	大阪市	—	105.7	104.6	149.6	102.1

4 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力 (kg)	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン (回)	持久走 男子1500m 女子1000m (秒)	50m走 (秒)	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
			(kg)	(cm)	(点)	(回)	(秒)	(秒)	(cm)	(m)	(点)
2 年 男 子	学校	26.58	26.14	42.44	47.56	80.20	—	8.60	196.86	20.03	39.47
	大阪市	28.38	26.42	42.74	51.50	79.76	—	8.08	194.64	19.84	41.10
	全国	28.95	25.94	44.47	51.51	78.98	—	7.99	197.18	20.57	41.86
2 年 女 子	学校	21.05	19.27	40.95	36.50	51.90	—	9.56	158.10	10.52	39.22
	大阪市	22.99	22.21	45.64	45.86	52.98	—	9.01	167.01	12.04	47.51
	全国	23.18	21.56	46.47	45.65	50.67	—	8.96	166.32	12.40	47.37

令和6年度 大阪市立南港南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

<国語> 全国・大阪府平均を下回った。「情報の扱い方」に関する事項は全国・大阪府平均を上回ったが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」について、全国・大阪府平均を下回ってしまった。今後の対策の必要性を感じた。

<数学> 全領域において、全国・大阪府平均を下回った。特に「データの活用」の領域については平均正答率も低く、今後の対策の必要性を感じた。

○中学生チャレンジテスト

3年生について、5教科とも府・市の平均を下回る結果となった。また、平均無回答率についても多数の教科で府・市の比べ高く、問い合わせに対して粘り強く取り組む意識の向上の必要性を感じた。国語では「言葉の使い方や特徴」、社会では「歴史的分野」、数学では「数と式」、理科では「地球」、英語では「書くこと」に関する正答率の低さがみられた。しかし、理科における「粒子」、英語における「聞くこと」については、府・市の正答率を上回っており、学習の成果が見える部分もあった。

1年生では、英語について大阪府平均、大阪市平均よりも下回る結果となってしまった。「読むこと」「書くこと」の2領域について平均値を下回る結果となつていて。2年生でも、1年生と同じく英語の結果について大阪市平均をわずかに下回る結果となつていて。「聞くこと」「読むこと」の2領域について平均値を下回る結果となつておらず、音読や速読に取り組み、単語力の向上を図るよう授業内容の構築を考えいく必要性がある。1・2年生の国語・社会・数学・理科については、すべて大阪府、大阪市の平均を上回る結果であった。昨年度から実施している総合的読解力の取り組みにより内容理解の力や問われていることの理解力が向上したこともその一助を担つたと考えられる。

○大阪市英語力調査

大阪市英語力調査(GTEC)については、読むこと【リーディング】聞くこと【リスニング】書くこと【ライティング】話すこと【スピーキング】の4技能すべてにおいて大阪市平均を下回る結果となつた。・リーディングについては、短く簡単な文章なら「意味のまとまり」ごとに区切り読んでいく力はついている。既知の知識を応用したり、別の知識とつなげる力の不足が推測できる。初見の英文や未知のテーマや場面設定においては英語の出入力ともに難しく感じているため、実力を発揮できていないと考えられる。

演習の時間を増やし、教えあい学びあう時間を作ることで学習内容の整理をし、意欲的に学習に取り組む環境づくりをすすめ、英語活用能力の向上につなげていく。

○全国体力・運動能力、運動習慣等調査

今年度も中学2年生を対象に実施したが、男女ともに20mシャトルランにおいて、全国平均を上回ることができたが、それ以外の項目については下回つてしまつた。生徒アンケートにおける「運動やスポーツをすることは好きですか」対して男子89.2%女子81.8%の生徒が肯定的回答をしている。しかしながら、1週間の総運動時間が60分未満の生徒の割合は男子23.5%女子47.6%と女子の運動時間が少ない状況にある。少しずつコロナ前の平常に戻りつつあることも鑑みて、今年度も保健体育科中心となり、保健体育の授業、体育的行事に取り組んできたが、まだまだ、運動の苦手な生徒、あるいは基礎体力がかなり厳しい生徒も多く、引き続き体育の授業、体育的行事の在り方について考えていかなければならない。

【今後に向けて】

全国学力・学習状況調査の結果をふまえ、学力向上の授業改善に向けて、今後重点的に指導する内容について確認した。特に、中学生チャレンジテストについては、今年度も検証用グラフを共有・活用し、苦手分野の把握に努め、各教科で分野・領域・観点別の見直しを図っていく。1・2年生では大阪府、大阪市の平均を上回る教科が増加してきたことをふまえ、基礎学力の定着を図り、応用力をつけていく授業の構築を計画的に行い、苦手意識のある英語の学力向上を目指したい。また、3年生で行われる大阪市英語調査についても、英語科の「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能を効果的に活用した授業の構築をすすめ、学力向上を図っていく。また、「総合的読解力」の取り組みを今後もよりいっそうすすめ、各教科や学年の取り組みに関連のある教材については、積極的に取り組みをすすめていく。あわせて、教科間で関連のある分野・領域については連携し、学習内容に関連性を持たせることにより、理解の深化を図り、各教科の学習内容によりいっそう興味・関心を高めていくよう取り組みをすすめていく。

運動能力と学習能力には密接な関係があり、運動習慣を身に着けることは学力向上のために欠かせない。しかしながら、今年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、全国および大阪市の平均を下回る結果となつていて。今後も体育的行事などを通して基礎体力の向上に努めていく必要性を感じている。

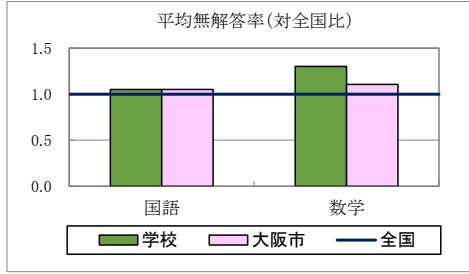
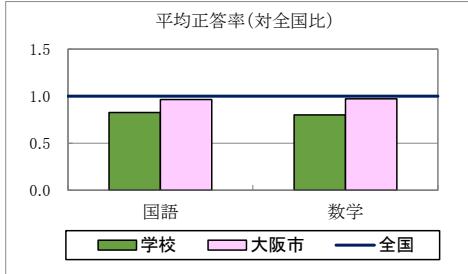
**令和6年度 大阪市立南港南中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	48	42
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

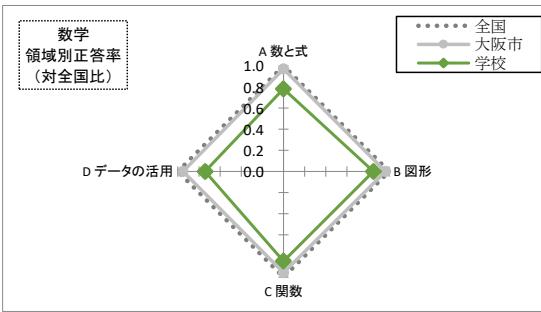
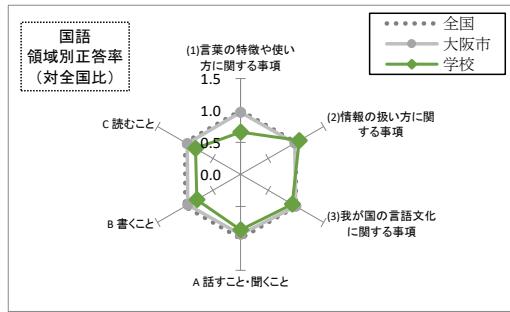
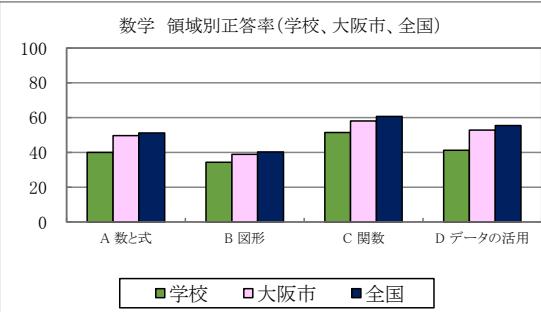
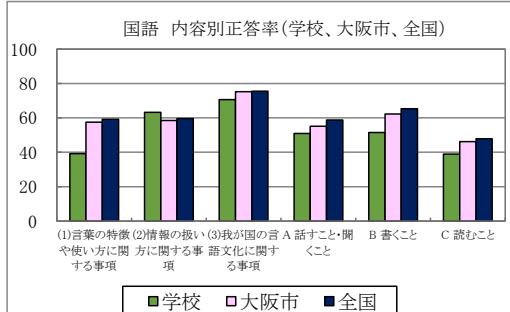
平均無解答率(%)	
国語	数学
4.1	14.7
4.1	12.5
3.9	11.3



【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	3	39.2	57.5	59.2
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	63.2	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	70.6	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	51.0	55.2	58.8
B 書くこと	2	51.5	62.2	65.3
C 読むこと	4	39.0	46.2	47.9

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	40.0	49.6	51.1
B 図形	3	34.3	38.9	40.3
C 関数	4	51.5	58.1	60.7
D データの活用	4	41.2	52.8	55.5



令和6年度 大阪市立南港南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

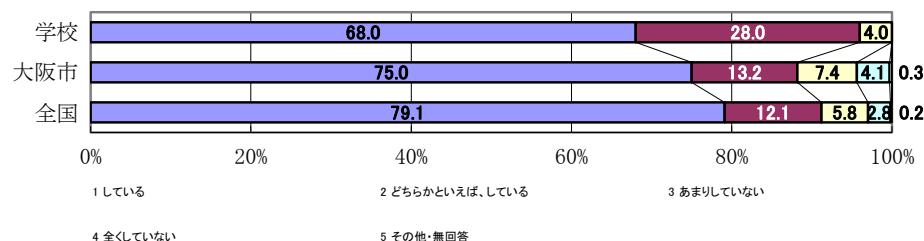
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

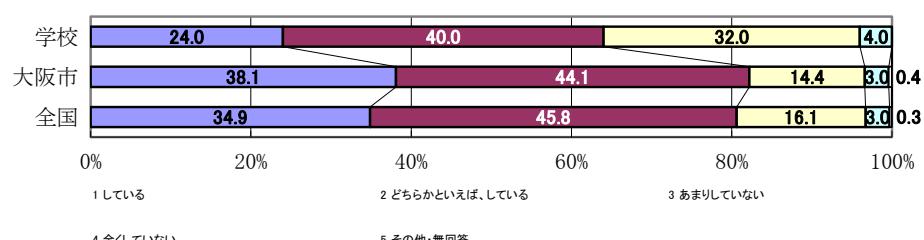
1

朝食を毎日食べていますか



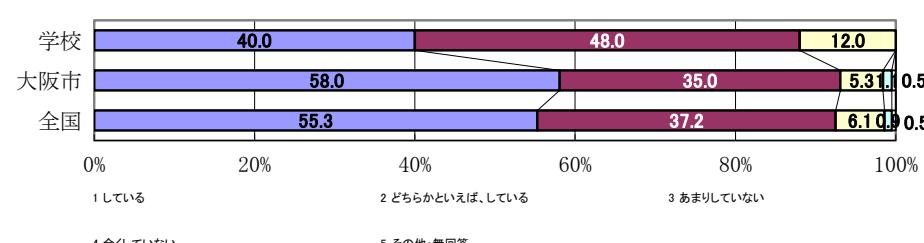
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



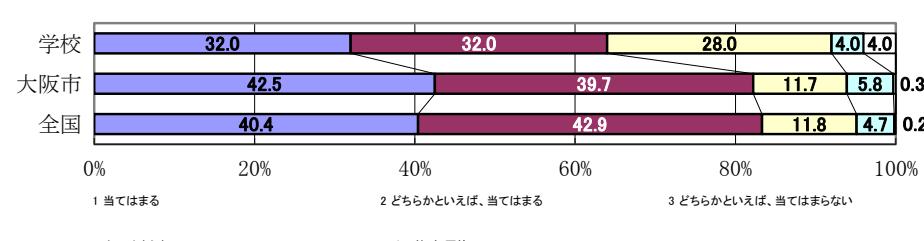
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



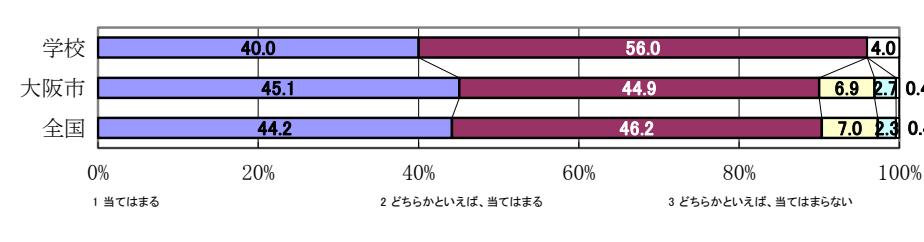
9

自分には、よいところがあると思うですか



10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



令和6年度 大阪市立南港南中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

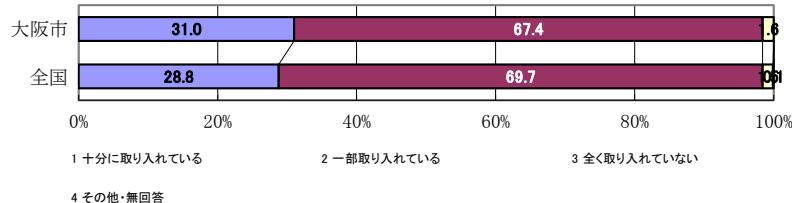
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

11

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

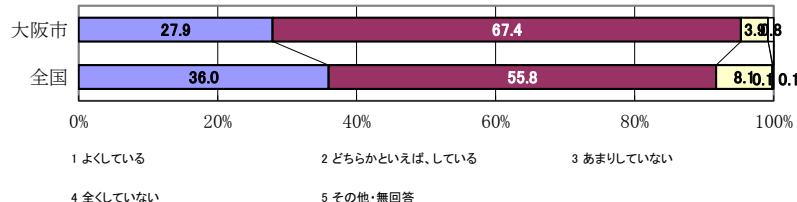
学校 「一部取り入れている」を選択



14

指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか

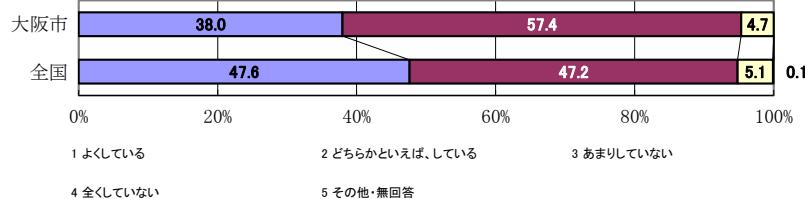
学校 「どちらかといえば、している」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

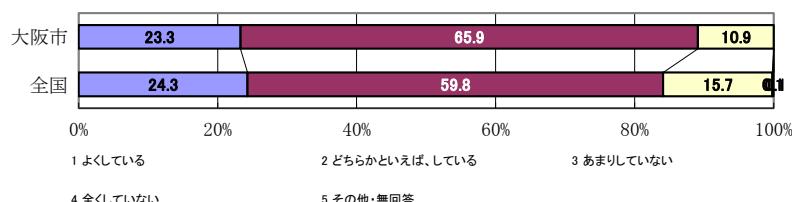
学校 「よくしている」を選択



18

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

学校 「どちらかといえば、している」を選択



21

各生徒の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしていますか

学校 「そう思う」を選択

